

# K house

設計:建築設計事務所バケラッタ

## シンプルな水まわり

森山善之 | Yoshiyuki Moriyama

都心の閑静な住宅地に建つ、夫婦と幼い子ども2人のための住宅である。明るくて風通しが良く、開放的だがプライバシーは守れる…、それが条件だった。クライアントは仕事柄、世界各地でグレードの高いホテルライフを体験しておられ、そういう傾向の生活を好まれた。水まわり空間についても、それらをもとに検討していった。今回は水まわりを中心に紹介することにした。

### 3階のメインバスルームと

#### 子ども用バスルーム

この住宅では早い段階で、水まわりの考え方が決まった。夫婦と子どもでは生活スタイルが著しく違い、雰囲気も変えた方が良かったが、バスルームは別々に設けるという結論を出した。

夫婦のためのメインバスルームはベッドルームに隣接させ、リラックスするための浴槽、体を洗うためのシャワールームと、完全に機能を分けた。浴槽ではテレビやDVDを鑑賞したり、テラス越しに夜景を眺めることもでき、テラスには植物なども置かれ、リラックスできるようになっている。シャワールームは毎日必ず体を洗うために、汚れが飛散する範囲を限定し、ガラスで囲った。床はステンレスのグレーチングで、汚れが目立ちにくく、掃除がしやすいなど機能性を重視した。また、設備的には24時間運転の空調と床暖房を併用した

ことはいうまでもない。

便器はREGIOを採用した。この規模とグレードの高い水まわり空間には、REGIOの大きさとデザイン的な強さが、バランス的にぴったりである。一つひとつのデザインが強くないとスペースに負けてしまう。その点で、REGIOの重厚さは気に入っている。

ちなみに、この住宅には3ヵ所にREGIOを採用している。メインバスルームの他に、地下1階と2階である。2階のトイレはリビングに近く、ゲスト用も兼用している。

バスルーム全体のつくり、仕上げは殺風景なくらいシンプルに、マイナスする方向でデザインした。住宅は住まう方が暮らしに合わせて付加し、自分流の個性を出していくのが当然だと考えているからである。

2人の子どもには、メインバスルームと同様にダブルシンクの洗面、大きめの浴槽と洗い場を設けた。子どもらしいバスルームを自身でつくれるように、シンプルで汚れが目立たない素材を選んだ。しかし、単に真っ白な空間では冷たくて面白くないため、壁は1面だけ赤いモザイクタイルを張った。

### 地下1階のシャワールーム

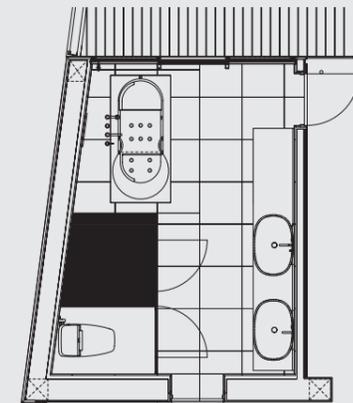
地下にもシャワールームを設けている。ゲスト用と将来的にはオフィス対応も考えた。現状は広めのスペースをとり、シャワールームとトイレだけであるが、その後の使い次第では、浴槽を設置することも考慮している。当面は目的が明確ではないために、かなり個性を強調したデザインにし、壁にはストライプ柄の石張り、他は白一色で統一した。



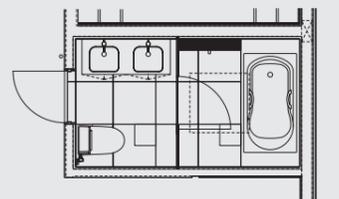
もりやまよしゆき——建築家/1964年生まれ。1987年、山口大学卒業。類設計室、PAO設計勤務を経て、1997年、建築設計事務所バケラッタ設立。



- 1—2階リビング
- 2—地下1階書斎
- 3—3階子ども用バスルーム:ここには「SATIS」が使われている
- 4—地下1階シャワールーム
- 5—2階トイレ
- 6—3階メインバスルーム
- 7—同見返し:奥はテラス、その手前右にはメインベッドルームにつながるドア



3階メインバスルーム平面図 1/100



3階子ども用バスルーム平面図 1/100

#### 建築概要

名称:K house | 所在地:東京都 | 敷地面積:267.24㎡  
| 建築面積:160.12㎡ | 延床面積:615.56㎡ | 規模:地下1階、地上3階、塔屋1階 | 構造:RC造 | 工期:2008.7-2009.10 | 設計:建築設計事務所バケラッタ | 施工:岩本組

●INAX使用商品 | 地下1階シャワールーム、2階トイレ、3階メインバスルーム | 便器:REGIO D-R115 || 3階子ども用バスルーム | 浴槽:アーバンシリーズ ZB-1400H/BW1、便器:SATIS D-S416S